Ｑ：「４年１組 宇宙へ船で・・・」この題材について

Ａ：　空想の絵、宇宙の絵と題材を提起しても、子どもたちはイメージをふくらませることができるでしょうか。授業ではみんなで物語をつくりながらお話しを進行することにしました。「これから４年１組みんなで宇宙への旅に行かないか。」「そんなの無理。」・・・.
「でも、お話しの世界だからできるんだ。これから学校中のガラクタや材木を集めよう。校庭に山のように積んで・・・みんなで宇宙へ行く船を作るんだ。かなづち・のこぎり・道具も上手に使って、さあ、がんばろう。マスト（帆ばしら）を立てて帆をはって、ロープやはしごもいいね。」
「だんだん船の形ができてきた。１組全員が乗れるようにね・・・。」
「操縦席も作ろう。」「食堂もつくりたい。」「図書室は！」「寝るへやは！」「トイレは？」「全部作ろう。」「だんだん大きな船ができてきた。校長先生も嬉しそうに見ているぞ。」「さあ、みんな乗ったかな。神田川から東京湾に出た。うれしいね。」「夜になって船は太平洋へ・・・。」
（でも、みんな眠くなって寝てしまいました。）
「朝、目をさましてびっくり。」「ねえ、みんな起きて起きて。」
船にはりっぱな大きな羽（つばさ）ができていて、ゆっくりと羽ばたきながら宇宙を進んでいたのです。天の川が光の川となって輝いています。いろいろな星座が通り過ぎていきました。だれかが天の川の砂を手にして「ダイヤモンドだ。」「おうちの人におみやげにしよう。」
（ある子どもが、「先生、４年生だからいいけど、６年生にこの話しをしたら馬鹿にされるよ。」　（その通りと思いました。）

準備：①版画用シナベニヤ板（300X225㎜）②下書き用８ッ切画用紙（380X270㎜）　版画用紙８ッ切(392X270㎜）　③彫刻刀（切れの悪いものはさける）④版画用具セット（練り板・ローラーなど）　⑤ばれん　⑥できれば版画プレス機　⑦灯油とぼろきれ　⑧薄墨（水で薄めた墨）と刷毛　⑨４Ｂなどの濃い鉛筆　⑩油性フエルトペン（黒・中太）　⑪７㎝くらいのくぎと手で握れるくらいの石ころ（コンクリート片でもよい）

授業の流れ：
①８ッ切画用紙の中心に版画板をのせ、形を画用紙に線描きする。　②描いた枠の中に濃い鉛筆で、主題の船や星たちを描く。（船は少し斜めの方が動いているように見えるかな？）　③版画板に灯油をぼろきれで塗る。

（ゴム手袋をして先生が塗ってあげる）　④画用紙の下書きと版画板の灯油の面を合わせる（ずれないためにひと工夫しよう）　⑤画用紙を上にして白ボール紙などをさらにのせ、プレス機で通す。（軽い圧力で）＊プレス機でなくてもばれんで強くこすったり、コップの底でこすってもよい。（コップをわらないように！）　⑥版画面に薄くても鉛筆の線が反転してうつっていれば大成功！　⑦鉛筆の線の上を油性ソフトペンで上書きする。⑧版画面に薄墨を刷毛で塗る。（完全に乾くまで…次の作業は来週かな）

⑨彫刻刀の種類。彫刻刀の正しい持ち方と彫り方の指導（一斉に・合格するまで個別に見てあげる）（道具の正しい使い道と使い方＝人間の長い歴史の産物です。）＊丸刀を鉛筆と同じに持ってみる。（これでは彫ることができない。）（次に中指・薬指・小指を伸ばして板の上に添える。）（左手の中指を右手の人差し指の下に添える。）（左利きの場合はこれと反対に。）（指の曲げ、伸ばしの軽い力で板を彫る。）　⑩版画板の裏に試し掘りをしてみる。）（深く彫るのではなく薄くそぐように彫る。）（短くて薄い切りくずが出たら、ほめてあげよう。）＊この持ち方は丸刀、三角刀、平刀には使えるが、切り出しは別。

⑪版画面の中で、どうしても白くしたい部分から、ていねいに彫っていこう。＊ソフトペンで描いた黒い線の上は絶対に彫らない。＊ただし、ロープやはしご、流れ星の尾などは黒い線の真ん中を三角刀で細く彫る。＊天体の星たちは釘と石ころを使ってたたきながら、小さな穴をあけていく。（強弱をつけて。）⑫版画面に切りくずが残らないように注意深く見る。

⑬版画面に版画インクをつける。　＊重要なのはローラーの持ち方。柄を握って持つのは✕。置いてあるローラーの柄をすくうように持つのは◎。＊ローラーの重さだけでインクをのばしたり、版画面を軽くころがす。＊これを何回も、縦・横と繰り返し、インクが均等に光って見えるまでがんばろう。＊練り板へのインクの量を適切に。＊コロコロ転がしたら一度持ち上げて、またコロコロ。（均等にのばす、均等に板にのせるコツ！）

⑭インクをつけた版木を対角線の角を持つなどして刷る場所に移動する。⑮版画用紙と同じ大きさの紙の中央に版画板大の枠をかいたものを用意。この枠に合わせて版画板をのせる。版画の刷り紙を台紙の位置とピタリ合わせてかぶせ、ばれんで刷りとる。＊紙の裏表を間違えないように。

＊ばれんの動きは中心から角へ。中心から上下左右へ。中心から回転状に四隅まで・・・。

以下省略・・・まず、教師の実験が先です。そして工夫を。

※ この画面を終了し 元のページに戻すには パソコン画面 左上の ← をクリックします。